

平成 3 年 度

特定魚種（ズワイガニ）漁場整備開発調査

安達 二郎

はじめに

この調査は近年資源の減少が著しいズワイガニ等の深海性漁業資源を対象に、資源分布、生息環境、生理、生態等の調査を行い、好適環境条件を解析するとともに、大水深域における漁場造成手法の検討を行うことにより、深海性漁業資源（ズワイガニ）を対象とした漁場の整備開発の合理的かつ効果的な推進に資することを目的とする。なお、この調査の詳細は“平成3年度特定魚種漁場整備開発調査ズワイガニ調査報告書”（社団法人、全国沿岸漁業振興開発協会、1992）に報告したので参照いただきたい。

調査の内容

1. 生物学的基礎調査

ズワイガニに関する既往知見の評価ならびに問題点の抽出を行うとともに、当該海域におけるズワイガニの資源分布状況、成長、成熟、繁殖等の生理、生態的知見、および、餌料環境等を把握することにより、好適な生物的環境条件について解析した。

2. 物理的基礎調査

ズワイガニの生息する海域の海底地形、底質、流況等を把握することにより、好適な物理環境条件を把握した。

3. 漁場の利用度実態調査

ズワイガニ資源を利用する、かご網漁業、底曳網漁業の動向、調査海域における操業状況等を把握するとともに、資源評価を行った。

4. 漁場整備開発方法調査

上記1～3の調査結果ならびに模型実験、現場海域での実証実験等を通じて、ズワイガニ資源の増殖を計るために必要な漁場造成手法の検討を行った。